



支援部ネット

令和4年度
特別号②
すながわ高等支援学校
研究支援部

🚩 初めに

この支援部ネットでは、支援教育に関する情報や校内での取り組みなどをお伝えしていきます。今回は、1年生で3週に渡り取り組んだ LGBTQ に関する人権学習についてご紹介します。ぜひご一読ください。

🚩 多様性

1週めの前半は12月に行った人権学習で学んだ「多様性」について再度、確認しました。

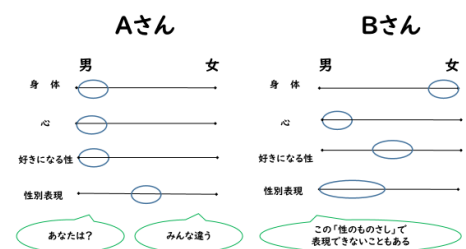
- 人権が守られる「すべての人」は、外見や性格、考え方などなど、1人ひとり異なる特徴・特性を持っており、だれ1人として同じ人はいない。
- 「ちがいは「まちがいはなく、「個性」であり「その人らしさ」。
- 「ちがいをなくそうとするのではなく、「ちがう」ことを自覚することが大事。
- 相手を知り、「ちがいを認め合うことが大事。
- 自分が変わり、自分たちが変わる。

🚩 性の多様性

1週めの後半は性のあり方も多様であることを学びました。「男性」と「女性」の2つに分けて考えがちだが、現実には明確に分けることができないもので、「両方」や「どちらでもない」などもあり、1人ひとり異なるもの。

ツートンではなくグラデーション。

「性のものさし」で自分はどうかも考えてみました。



🚩 性のとらえ方とステレオタイプ

「女らしさ」「男らしさ」のイメージを考え、クラスメイトと意見を出し合って考えを共有しました。私たちの多くが自覚しないうちに性についてのステレオタイプを持っていることに気づきました。

一方、生徒たちの中には、例えば「女らしさ」のイメージにはメイクをしている、と書こうとし、「いや、男の人でもメイクしてる人いるな」といったことに気づく生徒もいました。

🚩 井上鈴佳さんによる講演

2週めは、ご自身がレズビアンの方の井上鈴佳さんにご来校いただき、お話を聞かせていただきました。元養護教諭であるということで、お話の前には、今日はここが保健室だと思ってください、というお声掛けをいただきました。

前半は、パートナーのそらさんを主人公にした紙芝居を見せていただきました。心の中に大きなそらくんと小さなそらちゃんがいるというそらさんが井上さんと出会い、世界が変わった、というお話でした。

後半は、そらさんが今困っていることとして、「トイレ問題」についてワークショップを行いました。

講演の最後には、LGBTQ の味方、Ally (アライ) についてもお話いただきました。もし LGBTQ であることを教えてくれたなら、それはあなたを信じているから。それを勝手に他人にばらさないで、というアドバイスをいただきました。

🚩 トイレ問題

井上さんのパートナーでトランスジェンダーのそらさんは、生まれたての性は女性、心の性は1日の内でも男性のときと女性のときがあり、性別表現は「男性的」だそうです。困るのが外出時のトイレ。女性用のトイレに入ると「男性が入っている」となる、男性用トイレに入ると身体は女性なので捕まってしまう、多目的トイレに入ると「なぜあなたが使っているの?」となってしまう。そらさんが泣かずにトイレから出てくるには、どうしたらいいか、生徒の皆で考えてアドバイスをください、というものでした。

生徒からは「個室にダッシュで入る」「ヘルプマークをつける」「おむつをつける」「トイレを我慢する」「男女共用トイレを作って(サインをつけて)と市役所に言いに行く」「コンビニのトイレ(男女共用)に入る」「説明できるよう、ドアのところで誰かに立ってもらって多目的トイレに入る」「誰かと一緒にトイレに入る」などがありました。

実際は井上さんが一緒にトイレに入ることを実践しているそうで、この意見がどのクラスからも出たことに感心されていました。また、コンビニのトイレも安心して入れるトイレだということでした。

🚩 事後学習

最終週は、学習したことをクラスでまとめました。生徒たちからは、これまで意識せず人を傷つけてしまうようなことを言っていたかも知れない、これからは気をつけていこうと思う、といった声が聞かれました。「ちがいを認め、だれもが自由に、幸せに生きる権利が守られるべきだ」という人権感覚を持って、発言や行動をすることで、すべての人が自分らしく生きることのできる社会をみんなでつくっていききたいと思います。

This block contains several handwritten notes from the workshop. At the top is a title '人権学習性の多様性' (Human Rights Learning Diversity). Below it are sections like 'ステレオタイプについて' (About Stereotypes) which discusses how stereotypes are fixed ideas and how they can be broken. There are also diagrams and smaller notes about diversity and human rights.

This block contains handwritten definitions for LGBTQ terms:

- L (レズビアン): 心の性は女性性、恋愛対象も女性
- S (ストレート): 心の性は男性、恋愛対象も男性
- B (バイセクシュアル): 男性、女性の両性が恋愛対象
- T (トランスジェンダー): 生まれも身体性の性別と異なる
- Q (クエスチョン): 自身の心の性がわからない

This block contains notes about supporting friends and reflections:

- もしも友達に困っていたら**: 友達に困っている人がいたら、私たちがALLYの気持ちでいてあげよう。教で体たかたは女(男)しい気持ちになり、感じることがなくなる。
- 感想**: 性別関係なく同性どうしてつき合える社会になってほしい。相手の性別も知らずに勝手に判別するのはやめよう。

This block contains reflections and a diagram:

- 感想**: LGBTQの事を知らない、LGBTQを2つ持っている人も居ると知らなかった、カマルズという言葉が心を傷つけること、LGBTQの味方をALLYのアライとすること、トイレを我慢して病気の人も居る。
- 性の多様性**: A diagram showing the rainbow flag colors (Red, Orange, Yellow, Green, Blue, Purple) with circles next to them, and text: '話し合った結果', '服を変える イメチェン', '1人で乗り越える 落ち着いて一緒に行動', '茶室に行き買つ それとそれだけの友だちで決める', '多目的トイレを使う理由や説明してもらうようお願いしてみよう'.